



LIN UTZON

リン・ウッツン

経 歴

- 1946 : コペンハーゲン生まれ
- 1965 : イーストシドニー美術工芸学校で学ぶ
- 1967 : 日本で4ヵ月修行
- 1967 : コペンハーゲンの美術工芸学校で織物を専攻
- 1970 : コペンハーゲンマルグレーテスコーレンでカッティングと衣装デザインを学ぶ
- 1973 : ヘルシンギーにスタジオを設立
- 1978 : ロイヤルコペンハーゲンに入社 磁器一式をデザイン
- 1985 : 日本・金沢国際デザイン展覧会でデンマーク代表
- 1987 : コペンハーゲン・チボリ公園のプロジェクト参加
- 1997 : 倉敷チボリ公園プロジェクト参加

主 要 作 品

ロイヤルコペンハーゲン装飾シリーズ
スウェーデン・ボルボ本社ビルの大装飾
コペンハーゲン空港新国際ターミナルの陶器壁画
コペンハーゲンチボリ公園の12棟の磁器ドーム
その他バレエのステージデザイン・コスチューム
建築家とジョイントの室内装飾・教会のデザイン等

展 覧 会

イギリス・ドイツ・エルサレム・ニューヨークメトロポリタンミュージアム
フランス・デンマーク・オランダ・スウェーデン・アメリカ等世界主要都市

作風・人物像

リン・ウッツンの父親は、シドニーオペラハウスの建築家ヨルン・ウッツンであるが、父親の評判に乗るのではなく彼女自身の独創的な表現で世界各国で認められている。シンプルで、大きなスケールで描く作品は、大自然が目の前に現れてくるようである。